

年 度 平成22年度  
工 事 名 社会資本整備総合交付金事業  
大湍環状線舗装補修工事  
路 線 名 大湍環状線【第2工区】  
工事箇所 南秋田郡大湍村字方口 地内

## 数 量 計 算 書

大 湍 村

## [第2工区]

## 舗装工数量集計表

種 別	細 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 工					
路面切削工					
	路 面 切 削	平均切削深さ:6cm	m2	6,368.0	
	殻 運 搬 処 理		m3	382.1	
舗装打換え工					
	表 層 工	再生密粒度アスコン(13), t=3cm	m2	6,368.0	
	表 層 工	再生密粒度アスコン(13), t=4cm	m2	6,368.0	
アスファルト舗装補修工					
	応 力 緩 和 層	特殊表面処理用アスファルト+ プレート砕石(7号)	//	6,368.0	
コンクリート舗装補修工					
	表 面 保 護	けい酸ナトリウム系表面含浸材	m2	299.7	
クラック補修工					
	注 入 工		m		
	シ ー ト 工		//		
区画線工					
	溶 融 式 区 画 線	停止線, W=30cm	m	0.0	
	ペ ン ト 式 区 画 線	外側線(実線), t=15cm	//	2,051.6	
	//	中央線(破線), t=15cm	//	512.9	
道路付属物工					
	視 線 誘 導 標	土中建込み、両面反射	本	52.0	設置
	取 付 道 路		式	1.0	N=3箇所









## 取付道路

## 調書

番号	始点	終点	延長	単位	規格	摘要
			面積			
①	NO.147付近	取付道路	118.0	m2		L=12.0m
②	NO.148付近	取付道路	114.0	m2		L=12.0m
③	NO.148付近	取付道路	117.0	m2		L=12.0m
	保護路肩控除	$12.0 \times 0.5 \times 2 =$	12.0	m2		
	上層路盤追加	$12.0 \times (0.1 + 0.1) =$	2.4	m2		
	下層路盤追加	$12.0 \times (0.075 + 0.075) =$	1.8	m2		
	掘削追加	$12.0 \times (0.15 + 0.15) =$	3.6	m2		
	埋戻し	$12.0 \times 0.09$	1.08	m3		RA=0.09m2
①	NO.147付近	取付道路 表層	106.0	m2	再生密粒度アスコン(20) t=40mm	118.0-12.0
①	"	上層路盤	108.4	m2	粒度調整砕石 M-40 t=150mm	106.0+2.4
①	"	下層路盤	110.2	m2	再生クラッシュラン RC-40 t=150mm	108.4+1.8
①	"	掘削	38.1	m3		$(108.4+3.6) \times 0.34$
②	NO.148付近	取付道路 表層	102.0	m2	再生密粒度アスコン(20) t=40mm	114.0-12.0
②	"	上層路盤	104.4	m2	粒度調整砕石 M-40 t=150mm	102.0+2.4
②	"	下層路盤	106.2	m2	再生クラッシュラン RC-40 t=150mm	104.4+1.8
②	"	掘削	36.7	m3		$(104.4+3.6) \times 0.34$

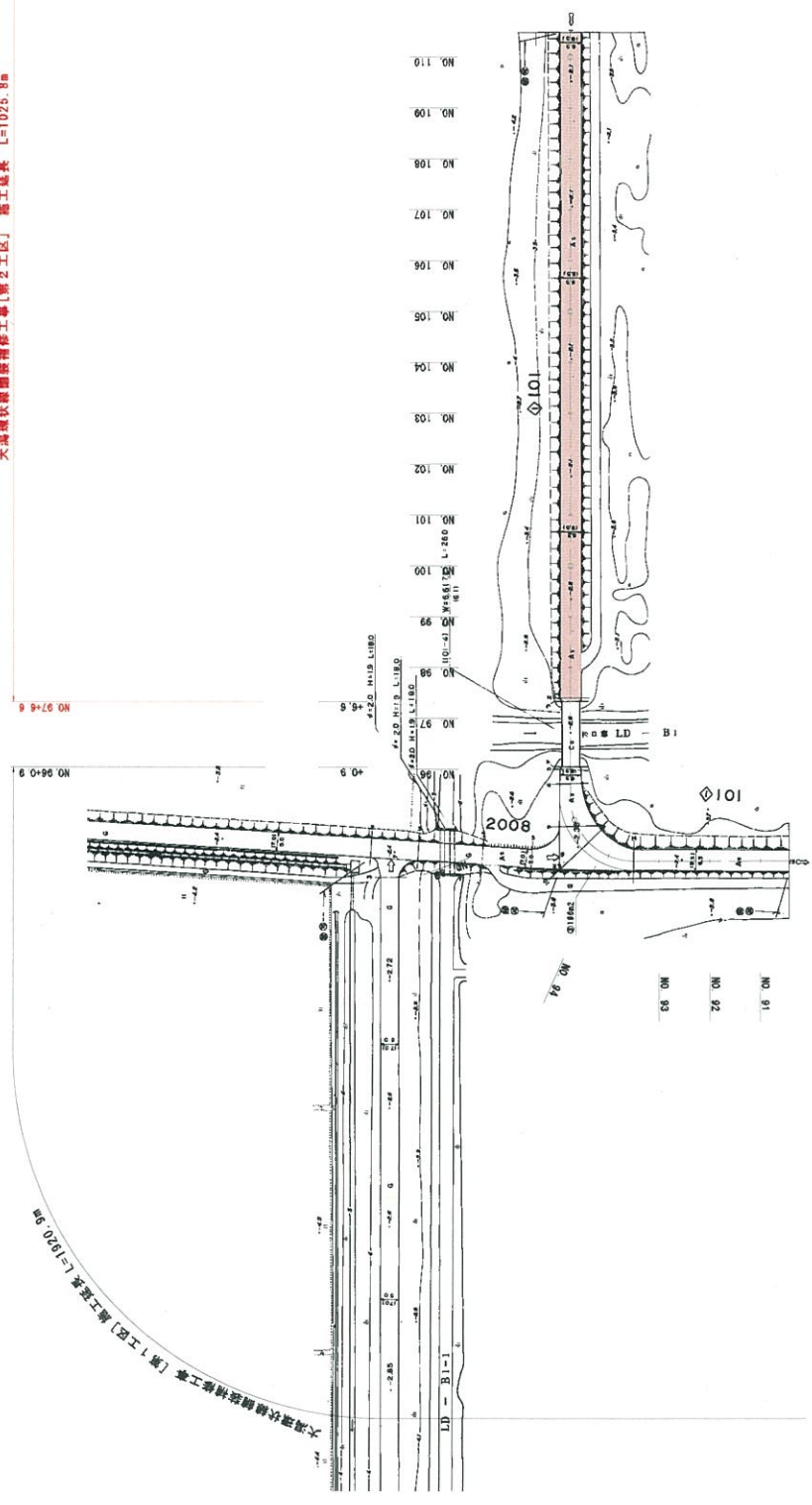




平面図  
S=1:1000



大瀧環状線維持修工事【第2工区】 施工延長 L=1025.8m



施設設計図

【第2工区】NO.91~NO.110

工務 番号	平成 22 年度
工事 名称	大瀧環状線
場所 名称	南秋田郡大瀧町字方口 地内
工事 名称	社会資本整備総合交付金 大瀧環状線維持修工事等
縮尺	1:1000
調査	設計
監理	大瀧村

平面図

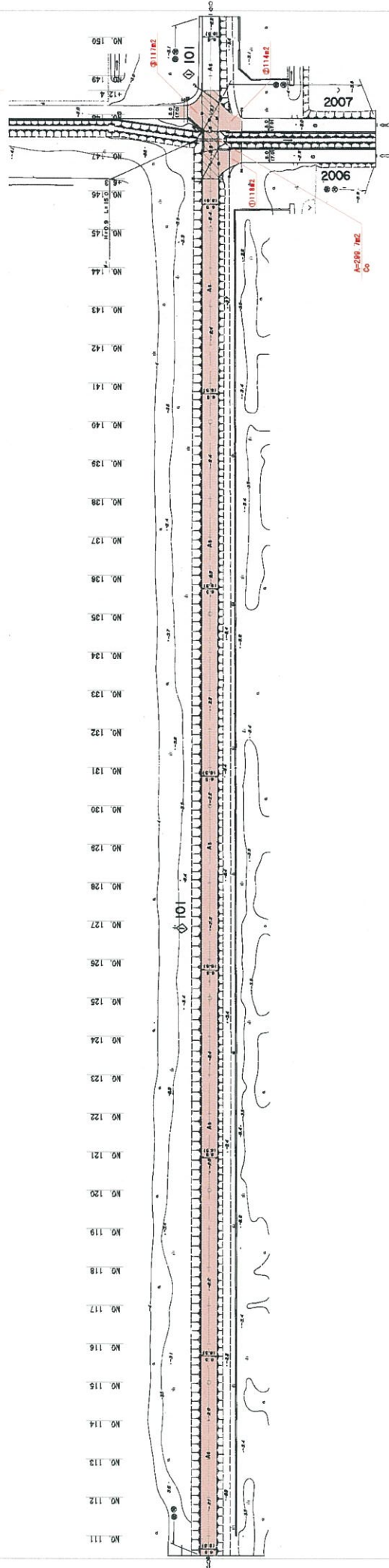
S=1:1000



大規模住居修繕工事  
【第3工区】  
施工延長 L=905.0m

大規模住居修繕工事【第2工区】 施工延長 L=1025.8m

NO.148 12.4



実施設計図

2 3

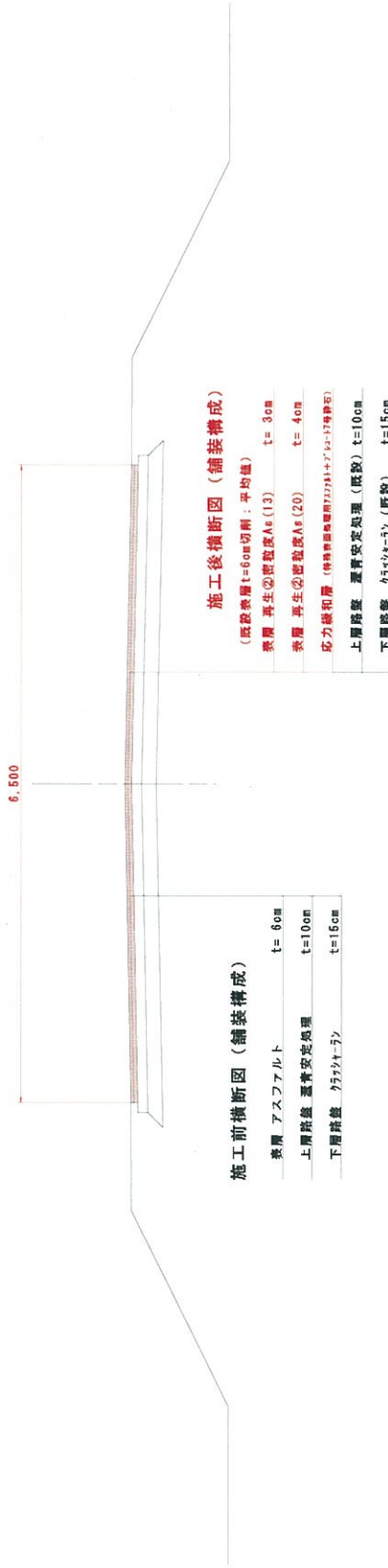
【第2工区】NO.111~NO.150

平成 22 年度	工事 番号
河川 川名	大 規模 住 居 修 繕
場所 名	南阿蘇郡大津村字方口 地内
工事 名	社会福祉施設住居修繕工事
平面 図	縮 尺 1:1000
調査	設計
	監理
	備考
大 津 村	

設 計 条 件

計画交通量	40 ≦ T < 100
区 間	No.0 ~ No.80
設計 CBR	4.0%
目 標 TA	15
凍 結 深	25cm

標準横断面図  
S=1:25



施工後横断面図 (舗装構成)

(既設表面 t=6cm切削：平均値) t=3cm  
表層 再生の密度 A<sub>s</sub>(13) t=4cm  
表層 再生の密度 A<sub>s</sub>(20)  
応力緩和層 (特殊集積層厚 2.73t+7.5cm-17単位)  
上層路盤 遷安定処理 (既設) t=10cm  
下層路盤 クラッシュストーン (既設) t=15cm

施工前横断面図 (舗装構成)

表層 アスファルト t=6cm  
上層路盤 遷安定処理 t=10cm  
下層路盤 クラッシュストーン t=15cm

取付道路標準横断面図  
S=1:50

既設舗装

層 種	構造 組成	厚さ (cm)	弾性係数 (MPa)	換算係数	境界層換算厚	補強
表層	アスファルト	6	2065	0.69	4.14	
上層路盤	遷安定処理	10	716	0.46	4.60	
下層路盤	クラッシュストーン	15	129	0.24	3.60	不足 TA =2.66
計		31			12.34	

補装舗装

層 種	構造 組成	厚さ (cm)	弾性係数	境界層換算厚	補強
表層	再生の密度 A <sub>s</sub> (20) t=6cm 再生の密度 A <sub>s</sub> (13) t=6cm	7	1.00	7.00	打換え
応力緩和層	特殊集積層厚 2.73t+7.5cm-17単位 アスフェルト+砕石 (1層)	-	-	-	リフレッシュ クッション
上層路盤	遷安定処理	10	0.46	4.60	既設
下層路盤	クラッシュストーン	15	0.24	3.60	既設
計		32		15.20	≧15 (目標値)

【施工区】

年度	平成 22 年度	工事 番号	
区 名	大 槻 区	伏 線	
区 名	南秋田郡大塚町字方口 地内	区 名	
工事 名	社会資本整備蓄積資金等	工事 名	
補修 機 種	舗 修	縮 尺	1 : 25
設計		監理	
設計 者		設計 者	
大 槻 村			